

広報 おうめ



青梅市民憲章

- 1 木や花をたいせつにし
美しいまちをつくろう
- 2 ともに学びあい
心やからだをきたえよう
- 3 明るい家庭をつくり
若い力を育てよう
- 4 よく働き
豊かなくらしをともにしよう
- 5 協力し助けあい
住みよいまちにしよう

お知らせします 市の財政状況

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、年に2回「財政状況」を公表しています。

平成28年度下半期分（10月～3月）の状況等についてお知らせします。

問い合わせ 財政課

一般会計の状況

平成28年度の一般会計の予算については、当初予算494億円から、4回の補正を行い、最終予算額は511億3,052万1千円となりました。

歳入では、基幹財源である市税は、個人市民税や固定資産税は増収の見通しであるものの、法人市民税が減収となる見込みで、引き続き厳しい状況となっています。

一方、歳出では、子育て支援や生活保護費など福祉関係の経費である民生費が引き続き増加しています。経常経費の削減に努めましたが、不足する財源として基金の取り崩しや市債の発行などにより補っている状況です。

今後も厳しい財政状況が見込まれますが、青梅市の将来像である、「みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅」の実現に向けて、事業の推進を図るとともに、市民の皆さんに安定した行政サービスを提供するため、行財政改革を推進し、健全な財政基盤の確立に努めます。

特別会計の状況

モーターボート競走事業会計については、電話投票売上などの向上を図るとともに、固定費の削減に努めて収益金の確保を図り、一般会計への繰り出しを行いました。



依然として予断を許さない経済情勢が続くなか、今後も厳しい経営環境が見込まれますが、全国発売競走の誘致等、売上の向上を図るとともに、引き続き経費の削減に取り組むなど、収益金の確保に努めます。

なお、病院事業における平成28年度の総合病院利用患者数の状況は左表のとおりです。

平成28年度総合病院利用状況

区分	患者数	
	延べ数	1日平均
入院	15万2,156人 (15万4,873人)	417人 (423人)
外来	30万6,489人 (32万1,337人)	1,261人 (1,322人)

※()内は前年度数値

平成28年度 予算執行状況

平成28年度は、一般会計のほか、特定の事業を行うために、4つの特別会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計を設けてそれぞれ経理を行いました。

各会計の平成29年3月31日現在の執行状況は、右表のとおりです。

なお、モーターボート競走事業会計と病院事業会計を除いて、収入額と支出額の確定は、出納整理期間の終わる5月末日となります。

決算の内容は、広報おうめ12月15日号でお知らせする予定です。

平成28年度末各会計予算現額
および3月末現在の執行状況

区分	最終予算現額	収入率 (歳入)	執行率 (歳出)	
一般会計	518億574万円	92.3%	89.7%	
特別会計	国民健康保険会計	178億3,400万円	93.3%	90.8%
	下水道事業会計	47億9,240万円	70.8%	82.9%
	後期高齢者医療会計	27億5,359万円	99.1%	99.4%
	介護保険会計	83億7,322万円	95.3%	90.9%
モーターボート競走事業会計	収益的収支	338億4,991万円	101.0%	100.0%
	資本的収入	19億8,003万円	100.0%	-
	資本的支出	2億8,440万円	-	95.1%
病院事業会計	収益的収支	162億2,945万円	97.8%	96.7%
	資本的収入	2億7,518万円	96.4%	-
	資本的支出	13億2,600万円	-	98.9%

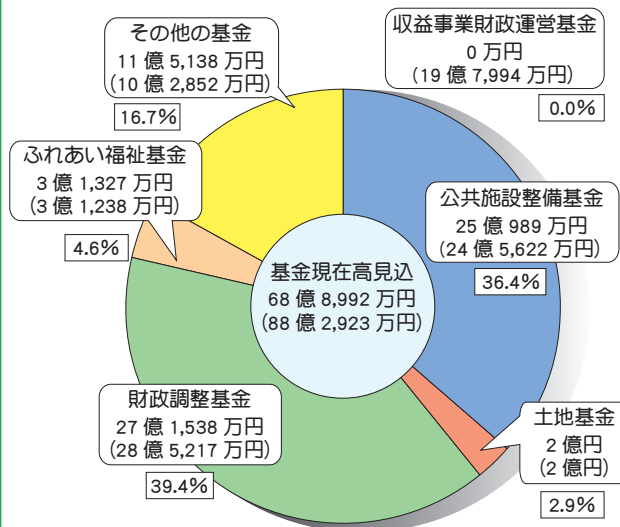
※最終予算現額には、前年度からの繰越額を含みます。

市有財産の状況

市は、公園や学校など、いろいろな財産を持っています。

- (1) 土地…307万4,447㎡
- (2) 建物…36万412㎡
- (3) 基金の残高…基金とは、将来のまちづくりなどに備えた積立金で、家計でたとえると「預金」に当たります。

基金の平成28年度末現在高見込みは、下図のとおりです。



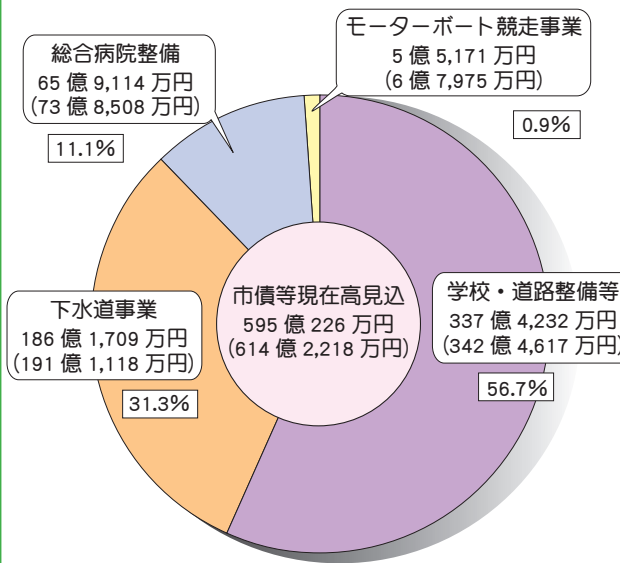
市民1人当たり5.0万円()内は前年度数値

市債等の状況

学校、市営住宅、下水道等公共施設の建設、整備などには、多額の経費を必要とします。

市債とは、基本的にはこのような経費を年度間において平準化し、これらの施設を将来利用する市民の皆さんにも公平に負担していただくため、国などから長期的に借り入れ、償還するものです。家計でたとえると「住宅ローン」などに当たります。

市債等の平成28年度末現在高見込みは、下図のとおりです。



市民1人当たり44万円()内は前年度数値

市民1人当たりの金額は、平成29年4月1日現在の人口をもとに計算しています。

※構成比は端数調整しています。